

家庭ごみ有料化導入までの審議過程

資料 3-1

富山市環境審議会		その他
令和 2 年度		
		・富山市包括外部監査人から「一般廃棄物処理費用の有料化の是非を検討されたい」との意見が出される ・3月5日(金)自由民主党の代表質問に対し、家庭ごみ有料化の導入について検討する旨を答弁
令和 3 年度		
		・12月13日(月)経済環境委員会で、家庭ごみの有料化導入に向け取り組むことを表明
令和 4 年度		
① 11月4日(金)	・家庭ごみの有料化制度の導入について検討する旨を報告 ・有料化制度の概要を説明 ・家庭ごみ減量化施策についての意見交換会の開催を案内	・11月8日(火)～1月22日(日)意見交換会(市内14か所)の実施
② 1月30日(月)	・意見交換会の開催報告	
令和 5 年度		
③ 11月6日(月)	・調査及び検討状況の報告	
令和 6 年度		
④ 7月5日(金)	・調査及び検討状況の報告	・8月4日(日)、18日(日)家庭ごみの減量を考えるワークショップ開催
⑤ 10月7日(月)	・調査及び検討状況の報告	・9月28日(土)家庭ごみの減量化・有料化を考えるフォーラム開催
令和 7 年度		
⑥ 7月31日(木)	・コンサルタントによる調査・分析結果の報告 ・調査及び検討状況の報告 ・「家庭ごみ有料化に向けた基本的な考え方」の公表、審議	・10月10日(金)～10月28日(火)意見交換会(市内9か所)の実施
⑦ 11月4日(火)	・意見交換会等の実施報告 ・「家庭ごみ有料化実施方針(素案)」の公表 ・「家庭ごみ有料化の導入について」諮問	・11月14日(金)～12月15日(月)パブリック・コメントの実施
⑧ 2月10日(火)	・パブリック・コメントの実施報告 ・家庭ごみ有料化制度の審議	・1月7日(水)パブリック・コメント結果公表
⑨ 2月20日(金)	・「家庭ごみ有料化の導入について」答申	
令和 8 年度		
⑩ 6月30日(火)		・家庭ごみ有料化に係る条例改正案及び補正予算案の可決

富山市における家庭ごみ有料化制度の概要

(1) 対象とするごみ



※ごみの分別徹底や資源化を推進するため、有料化にあわせて「燃やせるごみ」を「燃やすしかないごみ」に改称します。

(2) 有料化の方法

- ① 専用ごみ袋方式（指定収集袋でごみを排出する方式）
- ② 排出量単純比例型（ごみの排出量に応じて、排出者が手数料を負担する方式）
- ③ 手数料の水準は、指定収集袋の容量1リットルあたり1.0円

※ ごみの減量効果、周辺自治体の手数料水準、市民の受容性等を総合的に勘案

ごみ袋の容量	45ℓ	30ℓ	20ℓ	10ℓ	5ℓ
手数料	45円	30円	20円	10円	5円

- ④ ボランティア専用ごみ袋を作製し、地域や企業のボランティア活動を支援

(3) 負担軽減措置

「生活保護受給世帯」に対し、一定の期間、一定数の指定収集袋を配布予定。
(対象世帯数：2,403世帯（令和8年3月末時点）)

(4) 指定収集袋について

- ① 「燃やすしかないごみ」「燃やせないごみ」の共通袋
- ② 環境配慮素材の利用、廃プラ等の再生材の活用も検討
- ③ 45ℓ及び30ℓの指定収集袋については、袋本体への広告掲載欄を設ける予定

※ 中東情勢の影響によるごみ袋の価格上昇や輸入品の調達不安の問題から、家庭由来プラスチック等を材料とした国内産ごみ袋の代替調達を検討中（資源物の地産地消）

(5) 手数料収入の主な用途

指定収集袋の製造費用が中東情勢の緊迫化により値上がりし、現時点では、歳入から歳出を除いた収支（確保できる財源）は、約2億円を見込む。

施策	具体例
① 資源循環型社会の形成	ア. 3R推進スクール事業、環境教育関連事業 イ. 適正な分別排出に向けた啓発・広報活動 ウ. 資源物の排出機会の創出（利便性の向上） エ. デイポーザー排水処理システム、コンポスト等の普及啓発 オ. 官民連携によるごみ減量化施策
② 地域振興関連事業	ア. 地域環境美化活動（ボランティア活動）等への支援 イ. 地域循環型のごみ減量化・資源化施策の推進 ウ. 集団回収活動への支援（報償金の拡充など）
③ 社会的要請による支援事業	ア. 高齢者等ごみ出し支援事業 イ. 生活保護世帯、子育て世代への支援
④ その他	ア. 一般廃棄物処理施設整備基金への積立

(6) 家庭ごみ有料化制度導入に向けた取組

- ① 周知及び啓発活動（住民説明会や出前講座、SNSを活用した制度周知等）
- ② 不法投棄対策強化（パトロールの強化、警告看板や監視カメラの活用等）
6月補正予算 住民説明会の開催、制度周知チラシ・動画の作成、ごみ出しルールの徹底や不法投棄の防止を目的とする看板の作成・配布 など

(7) 家庭ごみ有料化制度の評価と見直し

- ① 実施状況や効果について毎年検証し、富山市環境審議会へ報告・市HP等で公開（手数料の用途についても併せて報告）
- ② 富山市一般廃棄物処理基本計画と併せ、概ね5年毎に制度を見直す

(8) 家庭ごみ有料化に伴う主な併用施策（有料化の効果を高める取組）

- ① 富山市版もったいない運動の展開（令和8年度先行実施）別紙のとおり
- ② 「燃やすしかないごみ」への改称
- ③ 「高齢者等ごみ出し支援事業」の実施 等

(9) 今後の主なスケジュール

令和8年6月	・ <u>有料化に向けた条例改正、補正予算(案)提出</u>
令和8年7月～	・指定収集袋の製造、保管・配送体制整備 ・広報とやまや市ホームページ等による周知啓発
令和8年10月～	・ <u>市民への周知（住民説明会等）</u> ・指定収集袋に関する取扱店の募集、登録
令和9年7月頃	・ <u>指定収集袋の店頭販売開始（予定）</u>
令和9年10月	・ <u>有料化制度開始</u>

令和8年2月20日付け「家庭ごみ有料化の導入について（答申）」に係る対応状況について

資料3-3

No.	区分	答申内のご意見	市の対応方針
1	本文	家庭ごみ有料化の導入によるごみ減量効果の長期的な持続性を確保するためには、<u>有料化と併せて実施する一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進等にむけた様々な施策に、しっかりと取り組むことが重要</u>であると考えます。	多くの市民の皆さんに「もったいない」を合言葉に、ごみの減量やリサイクルに取り組んでもらえるよう、「<u>富山市版もったいない運動</u>」を展開し、<u>循環型社会の形成に向けて、市民の意識改革に努めます。</u>
2	本文	現在、物価高等で市民の家計が厳しい状況の中で、<u>有料化により市民に新たな経済的負担が生じることから、ごみの排出マナーの改善や不法投棄の減少、ごみステーションの環境改善、ごみの減量等に伴う将来世代の負担軽減等、市民が有料化の導入によるメリットを実感できるよう、素案に掲げる施策が着実に実行されることを期待します。</u>	<u>ごみの排出量を減らすための施策</u>（分別排出、リユース、コンポストの活用等）を市民の皆さんに分かりやすく広報し、<u>経済的な負担の軽減に努めます。</u> - 施策の採択にあたっては、より多くの市民の皆さんが有料化のメリットが実感できるよう考慮します。
3	付帯意見	市民や地域団体等の理解や納得を得るため、<u>有料化制度に関する丁寧で分かりやすい説明に努めること。</u>また、若者や外国人などに向けたSNSやアプリの活用による情報発信についても検討すること。	<u>10月から小学校区を基本とした住民説明会を開始し、丁寧な説明に努めます。</u>また、<u>アプリやSNS向け動画については10月から順次公開します。</u>
4	付帯意見	<u>手数料収入の使途を明確化するとともに、透明性を確保すること。</u>また、既存の一般廃棄物処理施設の更新等も念頭に、<u>基金へ計画的に積み立てること。</u>	<u>手数料の収納状況や使途については、ホームページや広報など、市民の皆さんに分かりやすく公開し、透明性を高めます。</u>
5	付帯意見	有料化の導入により環境汚染や景観悪化が生じないよう、<u>不適正排出や不法投棄への対策をしっかりと講じること。</u>	本年6月議会で、<u>不適正排出対策の看板作成費用を確保しました。</u> <u>不法投棄パトロールの強化は、令和9年4月から取り組みたいと考えています。</u>
6	付帯意見	<u>地域団体やボランティア団体の活動に支障が生じないよう、ボランティア袋の活用など、必要な支援策を講じること。</u>	現在、<u>小学生を対象にもったいないポスターコンクールを実施しています。</u>（金賞作品は袋の図案に採用）
7	付帯意見	専用ごみ袋の制作にあたっては、<u>企業からの協賛金等の活用も検討すること。</u>	<u>指定収集袋の特大（45L）、大（30L）には、企業に協賛金をお願いしてまいります。</u>
8	付帯意見	家庭ごみ有料化の導入に向けての具体的な取り組みに当たっては、意見交換会やパブリック・コメント等で<u>市民から寄せられた意見や、本答申に向けた当会での審議の中で、各委員から寄せられた意見を十分に考慮すること。</u>	これまでも、市民の皆さんからの意見を踏まえ、適宜、制度の見直しを行ってきており、<u>引き続き、皆様のご意見を参考にしながら、有料化の導入に納得していただけるよう、丁寧に進めてまいります。</u>

○令和8年度「富山市版もったいない運動」年間スケジュール

年度	月	内容
R7	3月	①リユース活動の促進に向けた連携協定の締結（R8.3.23） ○とやま情報局（北日本放送 R8.3.29）
R8	4月	○広報とやま(4/20)もったいない運動の特集記事（2ページ） ※通年で、「もったいない」関連記事を掲載予定。
	5月	○広報とやま(5/20)トピックス記事 （生ごみの減量、ダンボールコンポスト講座のお知らせ）
	6月	②3R推進スクールの開始（R8.6～）選択科目にコンポストを追加 ②ガンダムアカデミア紹介 ③エコタウンでコンポスト講座開始（年10回開催。R8.6～12） ④ポスターコンクールの募集開始（R8.6～8） （予定）9月：受賞作品の決定 2月：ポスター及びごみ袋の展示 ○広報とやま関連記事掲載
	7月	○広報とやま関連記事掲載
	8月	○ふるさと富山美化大作戦 ○広報とやま関連記事掲載
	9月	○広報とやま関連記事掲載
	10月	⑤ごみ分別促進アプリ「さんあ～る」の運用開始 ⑥剪定枝リサイクルプロジェクト（拠点回収）の実施 ②「マイプラスチックステーション」の開催 ○広報とやま関連記事掲載
	11月	○広報とやま関連記事掲載
	12月	○広報とやま関連記事掲載
	1月	○広報とやま関連記事掲載
	2月	○事業系一般廃棄物の減量及び 資源化の推進に向けた研修会 ○広報とやま関連記事掲載
	3月	○広報とやま関連記事掲載

※広報とやま関連記事は、ごみの減量や資源化に繋がる身近な取組紹介や分別のポイントなどを掲載。

①リユース活動の促進に向けた連携協定の締結（R8.3.23）

リユースサービスサイトを運営する民間事業者2社と「リユース活動の促進に向けた連携協定」を締結。



③コンポスト講座の開催（R8.6～）

エコタウン交流推進センターで通年開催



④ポスターコンクールの開催（募集予定期間：R8.6～8）

市内の小学生を対象に、ポスターコンクールを実施。受賞作品を市が作製するボランティア専用ごみ袋のデザインに採用し、地域美化清掃活動に活用。



参考：金沢市「ごみを減らそう！」ポスターコンクール最優秀賞（令和6年度受賞作品）

⑤ごみ分別促進アプリ「さんあ～る」の導入（R8.10～）

市民へ家庭ごみの分け方や出し方などを分かりやすく紹介し、外国語への対応も可能なごみ分別促進アプリ「さんあ～る」を導入。
＜主な機能＞
・ごみ収集日カレンダー
・AI画像認識による、捨て方の案内
・不法投棄や置き去りごみなどを、市へ通報する機能 など



②3R推進スクール発展授業の実施
②「ガンプラアカデミア」（R8.6～）
②「マイプラスチックステーション」（R8.10）

- ・市内の小学4年生に出張環境教育を実施。
- ・(株)バンダイスピリッツと共同で小学5年生向けの3R推進スクールの発展授業を実施。

<3R推進スクールの発展授業>

- ・ガンプラアカデミア（プラモデル体験等）



- ・マイプラスチックステーション（リサイクル体験）



⑥剪定枝リサイクルプロジェクト（R8.10）

家庭から排出される剪定枝を、市内2箇所で拠点回収し、バイオマス燃料への活用を図る。

<日時・場所>10/17（土）・エコタウン交流推進センター
10/18（日）・環境センター



実施イメージ：砺波市「春の剪定枝リサイクル大作戦」